

ドリストカップ 2022プロボウリング男子新人戦

8名によるラウンドロビン対戦表

ROUND	1 9 L - 2 0 L	2 1 L - 2 2 L	2 5 L - 2 6 L	2 7 L - 2 8 L
1	田中 棕也 VS 原田 裕史	羽ヶ崎匠海 VS 大久保雄矢	原田 岳 VS 田中 義一	徳久 恵大 VS 井口 遼太
2	田中 義一 VS 井口 遼太	原田 岳 VS 徳久 恵大	原田 裕史 VS 大久保雄矢	田中 棕也 VS 羽ヶ崎匠海
3	原田 岳 VS 大久保雄矢	田中 棕也 VS 井口 遼太	徳久 恵大 VS 羽ヶ崎匠海	原田 裕史 VS 田中 義一
4	羽ヶ崎匠海 VS 田中 義一	徳久 恵大 VS 原田 裕史	田中 棕也 VS 原田 岳	井口 遼太 VS 大久保雄矢
5	徳久 恵大 VS 田中 棕也	大久保雄矢 VS 田中 義一	羽ヶ崎匠海 VS 井口 遼太	原田 岳 VS 原田 裕史
6	原田 裕史 VS 羽ヶ崎匠海	井口 遼太 VS 原田 岳	大久保雄矢 VS 田中 棕也	田中 義一 VS 徳久 恵大
7	大久保雄矢 VS 徳久 恵大	田中 義一 VS 田中 棕也	井口 遼太 VS 原田 裕史	羽ヶ崎匠海 VS 原田 岳
P・M	8 位 VS 7 位	6 位 VS 5 位	4 位 VS 3 位	2 位 VS 1 位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法をラウンドロビン方式で行います。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、`ラウンドロビン`の名称がつけられたと言われています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボーナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位、3位と4位というように順位（ポジション）ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行い、上位4名がTV決勝へ進出いたします。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？

ポイントはどのくらい稼いでいるのか？出場プロの熱い戦いに期待して下さい！！